

あいさつ



川口市では、昭和50年に策定された川口市総合計画から第5次川口市総合計画に至るまで、計画に基づく各種施策を着実に進め、市民生活の向上に努めて参りました。

他方、近年の社会情勢の変化は目まぐるしく、近い将来の予測も困難なほど、変化のスピードが加速しているのを実感します。

また、歯止めのかからない少子高齢化、気候変動により激甚化する自然災害の頻発、DXの進展、生活様式の変化など、これまでのさまざまな課題が複雑化・多様化し、絶えず進行しているのが現状です。

このような中、各団体及び専門分野の有識者で構成する審議会において、委員の皆様からの貴重な意見を約1年に渡って集約し、本市の将来へ向けた指針を示すために、令和8年度から令和17年度までの10年間を計画期間とする「第6次川口市総合計画」を新たに策定いたしました。

新たな総合計画では、「市民とともに輝くまちづくり」「みんなの笑顔輝くまちづくり」「いつまでも輝き続けるまちづくり」を基本理念として、将来都市像を「産業と文化と自然が調和した 輝きあふれるまち 川口」としました。

変化の激しい時代にあっても、本市伝統のものづくり産業と新たな文化、そして、豊かな自然が調和し、すべての人がいきいきと輝きあふれ、将来にわたり多くの人が、「住んでよかった、これからも住み続けたい」と実感できるまちづくりを市民とともに、本計画を羅針盤として着実に進めて参りたいと考えております。

結びに、総合計画策定にあたりましては、多大なるご尽力を賜りました川口市総合計画審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提案をくださいました市民の皆様、市議会議員の皆様に対しまして、心より感謝を申し上げますとともに、今後も、なお一層のご指導とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年(2026年)4月

川口市長 岡村ゆり子